

卒業生が“城東LIFE”を語る……



名古屋大学・教育学部・人間発達科学科 山田瑠衣
(岡山市立旭東中学校)

城東高校は自由で明るい校風のもと、生徒一人ひとりが自らの行動に責任を持ち、活動できる学校です。城東高校の魅力は、勉強、部活、学校行事のすべてに全力で取り組めることにあります。これらをすべてやりきることは容易ではなく、とても忙しい毎日ですが、生徒は集中と切替えを心がけて充実した学校生活を送っています。

人文社会学類は、様々な分野をバランスよく学べるのが特徴であり、他の学類と比べると選択科目が多いため、自分の進路や興味関心に合わせた学びができます。

先生方は授業以外でも、生徒それぞれの進路に合わせて本当に丁寧に添削や指導をしてくださり、とても心強かったです。また、SGHの研究活動では、様々な人との意見交換やフィールドワークを通して自分の考えをまとめ、それを発信することで、社会問題への関心や理解を深め、自分の視野を広げることができました。

行事において印象深いのは、やはり翠緑祭です。翠緑祭は、生徒会や翠緑祭実行委員会を中心に生徒主体で準備を進めます。全員が団結して成功させたときには、大きな達成感を味わうことができました。

城東高校は、熱心に指導してくださる先生や様々な考え、大きな夢を持つ個性豊かな仲間と溢れています。そんな恵まれた環境の中で、たくさんの人に出会い、多くの刺激を受けながら過ごした三年間は、私にとってかけがえのない宝物になりました。卒業した今、「城東(ここ)でよかった」と心から思います。



東京藝術大学・音楽学部・器楽科 松北優里
(岡山市立芳田中学校)

城東高校音楽学類では2年次から、音楽の道に進む皆さんに必要なソルフェージュや音楽理論などの勉強をすることができます。また、演奏者としても活動されている先生方の歌やピアノの個人レッスン、くらしき作陽大学との連携プログラム(SJPP)での大学生の公開レッスンや大学の先生方の専攻楽器についての講義など、より専門性の高い内容の授業を受ける機会もあります。そういった科目は自分の志望大学に合わせて選択をすることが可能です。進路先の相談や悩みも先生方は親身になって

聞いてくださり、安心して大学入試に臨めました。国内外で活躍されている先輩方の存在も音楽や勉強に取り組むエネルギーとなりました。勉強だけではなく、音楽仲間と企画する中庭コンサートや翠緑祭でのミュージカルなど、城東ならではの行事も充実しています。このような行事は、クラスメイトそれぞれの得意分野を生かしてみんなで一つのものを作り出す達成感を味わえて、良い経験になりました。

そして、城東には4つの学類があるので、音楽だけにどまらず個性豊かな様々な友人と出会えたことも私にとって大きな財産となっています。

城東で得たものを大切にして、自分の音楽をさらに豊かなものにしていきたいと思っています。



神戸大学・国際人間科学部・グローバル文化学科 波多野 漣
(岡山市立旭東中学校)

城東高校は「集中と切替え」をモットーに、どんなことにも全力で取り組める学校です。初めての翠緑祭では、先輩方のあまりの盛り上がりで圧倒され、普段の真面目に勉強する姿とのギャップに驚いたものでした。この「集中と切替え」こそが、城東生が忙しいながらも充実した学校生活を送っている秘訣なのです。

学類選択の際は人文社会学類と国際教養学類で最後まで迷ったのですが、卒業した今、国際を選んできたと思っていて。城東高校ではどの学類に属していても英語を話したり国際交流したりする機会がありますが、やはり国際教養学類ではその

量も質も異なります。留学生と机を並べて勉強したり、翠緑祭で英語劇をしたり、ITC(英語集中宿舎)に参加したりするのは国際教養学類ですし、周囲に英語の得意な人が多いので、自分ももっと頑張ろう、と刺激を受けます。また、ALTのもとでのディベートや、実践的な内容の英作文、海外の高校生との交流などを通して英語力を高めることができます。

中学生の皆さんは城東高校に対してどのようなイメージを持っているでしょうか。勉強ができる、部活動が盛ん、生徒が自由で明るい……。私もこのような校風に憧れて城東を選びました。実際に入学してみると、勉強と部活動の両立は想像以上に大変でしたが、城東には辛いときに支えてくれるたくさんの仲間がいました。一緒に苦勞を乗り越えてきた友達が、自信のない自分を励ましてくださる先生方が、いつも隣で支えてくれました。そんな城東で過ごした3年間は、私にとってかけがえのない思い出です。



京都大学・工学部・地球工学科 井上湧太
(玉野市立山田中学校)

城東高校は生徒の自主性をとても重視する学校です。そのため、生徒は文武両道に励み、文化祭を主体的に運営して比類なき程に盛り上げ、城東高校の明るく楽しい雰囲気を作り上げています。私もこのような雰囲気に憧れて城東高校に入りました。

しかし、城東高校生としての生活は想像以上に大変でした。高度な内容の勉強、活発に行われる部活動、盛り上がる多くの行事。城東生はこの一石三鳥を狙うために常に時間に追われながら生活しています。

しかし、だからこそ私は城東高校を薦めます。

まず、同じ苦しい状況を乗り越えていく仲間がいます。4つの学類のある城東高校では、個性あふれる生徒がお互いに刺激を与えあいながら成長していくことができます。そのような仲間といえるからこそ、種々の行事や日常生活がかけがえのない思い出となっていきます。

そして、城東高校では集中と切替えの力が身につきます。有限の時間を有効に活用することは城東高校では必須です。この力は受験期及び大学以降の生活でも役に立つと思います。

加えて、理数学類では理科及び数学の専門的な分野を学ぶとともに大学への準備をすることができます。学類研修では大学で講義を受けたり最先端の研究を見学したりします。また、グローバルサイエンスという理数学類のコア科目では、化学・生物実験の方法を学び実践したり、数学・物理の問題を解いて自らプレゼンしたりするといった、大学でも役に立つ手法を体得することができます。

城東高校で私は勉強だけでなく様々なことを学ぶことができました。一生に一度の高校生活を城東高校で過ごすことができてよかったです。